

# 軽井沢町版 レッドデータブック

# 概要

## 業務内容

生物調査などを実施し、軽井沢町の自然の特徴や絶滅のおそれのある生きものをまとめた「軽井沢町版レッドデータブック」を現在作成中

## 活用方法

レッドデータブックは、次の方法で活用予定

- ①野生動植物の保護対策を講じる上での基礎資料
- ②生物多様性の保全とその持続的な利用の普及啓発
- ③開発行為と自然保護の調整を図る上での基礎資料

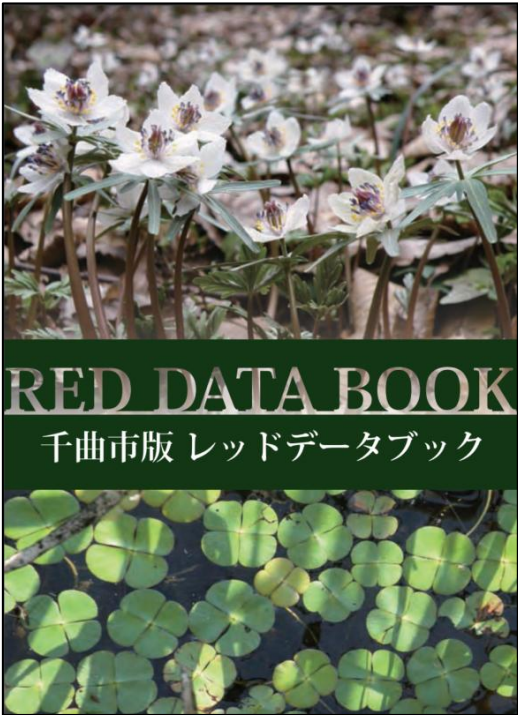


【生物調査の様子】

# スケジュール

		令和7年度			令和8年度			令和9年度		
1	現地調査等の実施	資料収集 ヒアリング		調査対象種検討、現地調査			まとめ			
2	レッドリストの作成	方針の検討		評価手法検討		掲載種 選定	パブコメ	カテゴリー評価		案完成
3	レッドデータブックの作成	方針・レイアウト・構成の検討			執筆者分担		原稿執筆			印刷
4	普及版レッドデータブックの作成			構成、内容検討		調査にあわせ素材収集		原稿執筆		印刷
5	GISデータの整理	データ項目 の検討		データ整理		定義書	データ整理		検査	
6	普及啓発の取組み		下見・企画立案			観察会（2回）			イベント	講演会（2回）
7	自然保護審議会の運営支援	・検討事項の随時承認 ・進捗確認						・RL、RDBの承認		
8	策定検討部会の運営支援	・全体スケジュール、作成方針検討 ・評価手法検討 ・RDB構成、ページレイアウト検討			・掲載種の選定結果や評価結果 の確認			・RL、RDBの内容確認		
9	調査会議・調査専門部会の 設置・運営	・調査対象種検討 ・データ、写真等収集			・掲載種の選定 ・評価・執筆者分担 ・カテゴリー評価			・カテゴリー評価 ・RDB原稿執筆		

# 他自治体のレッドデータブック



両生類

絶滅危惧Ⅰ類

長野県：指定なし 環境省：指定なし

カジカガエル

*Buergeria buergeri*

アオガエル科

種の特徴

成体の体長は30～40mmで、雌は50～70mm。体は側面から扁平、体色は灰褐色で暗褐色の不規則な点があり、石や岩の上では保護色になります。鳴き声が美しいカエルで、指の先には大きな吸盤があります。

生息環境

河川の清流域とその周辺の森林に生息します。

国内や県内の分布

本州、四国、九州、五島列島に分布する日本固有種で、県内では全県下にわたり分布します。

市内の状況と絶滅危惧要因

市内では三滝川にのみ生息していますが、個体数は少ないです。河川工事による水質汚濁や生息環境の消失が懸念されます。

特記事項

蛙の声に似ているため「河鹿」の名前がつけられました。

絶滅危惧Ⅱ類

長野県：絶滅危惧Ⅱ類 環境省：指定なし

ツチガエル

*Rana rugosa*

アカガエル科

種の特徴

全長は35～50mm。体色は灰褐色～黒褐色で、イボが目立ちます。水辺から離れることはなく、アリを好んで食べるほか、クモや小型の昆虫類を食べます。体から嫌な臭いを出すため、ヘビに食べられることは少ないようです。

生息環境

平地から低山地の水田、池沼などに生息します。

国内や県内の分布

本州から九州と周辺の島々に分布し、県内では全県下にわたり分布します。

市内の状況と絶滅危惧要因

雑穀の圃田では比較的多くの個体が生息しており、市内の水田地帯でも生息していると思われます。圃田整備による水田の乾田化や小川のU字溝化などにより、近年、各地で個体数が激減しているといわれています。

絶滅危惧ⅠA類

長野県：指定なし 環境省：指定なし

フジキ

【藤木】  
*Cladrastis platycarpa* (大きな葉の)

マメ科 フジキ属

種の特徴

落葉高木で、冬芽は白い膜質の袋に包まれ、黒色です。葉はフジに似ており、6月に枝先に短い穂状の白い腋生花をつけます。果実は広楕円状で、両側に翼があります。高さはおよそ10～15m程度になります。

生育環境

山地に生育します。

国内や県内の分布

本州（福島県以南）、四国に分布、県内では全県に分布しますが、少ないです。

市内の状況と絶滅危惧要因

森・急傾斜地の2箇所で確認、道路脇の崖地、林縁部に生育していますが、大木は2個体で、他には4～5個体の幼木があります。土砂の崩落や森林整備などによる絶滅の危険性があります。

特記事項

和名はフジによく似た木という意味です。花は数年に1度しか開かず、2009年は花を見ませんでしたが、2010年に多くの花をつけました。別名をヤマエンジュともいいます。

上：枝の一部 下：花

絶滅危惧ⅠA類

長野県：準絶滅危惧 環境省：絶滅危惧Ⅰ類

オオヤマカタバミ

【大山酢漿草】  
*Oxalis obtriangulata* (無三角形の)

カタバミ科 カタバミ属

種の特徴

多年草で、倒三角形の葉が特徴です。葉の上縁は左右ほぼ直線になります。4月頃白色の花径約3cm程度の花を開きます。内側に紫紅色の筋があり、下向きに咲きます。

生育環境

山中の木陰、比較的暗い湿性の林下に生育します。

国内や県内の分布

本州（中部）、九州に分布し、県内では中部、東部に分布しています。

市内の状況と絶滅危惧要因

食料地区の一箇所のみに、道路沿いの暗い針葉樹林下に10数個体生育しています。踏みつけや道路の拡張整備、森林整備などによる絶滅の危険性があります。

特記事項

和名は、山に生える大型のカタバミの意です。カタバミは酸味があるため、スイモノグサとも言われます。